学校番号	414

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	倫理　（東京書籍）						
副教材等	詳解倫理資料訂版　（実教出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・青年期における自己形成の課題や現代社会が抱える諸課題を解決するために、人間としてどう生きるか、どうあるべきかが問われています（課題を見つけ、生き方を考える）。
・その問いかけに答えるために、優れた先人や哲学者の考え方に学びつつ、倫理的・哲学的なものの見方を身につけていくことが求められます（先哲の古典を読みこなし、まとめる）。
・倫理の授業を通して身につけたものの見方を踏まえて、自己を主体的に形成し、現代社会が抱える諸課題に立ち向かってほしいと思います（先哲の思想を現代に生かし、課題解決を図る）。

2　学習の到達目標

・青年期における自己形成の課題について理解し、他者と共に社会に生きる自己のあり方を考える。
・人間の存在や価値に関わる西洋と東洋の思想と宗教の基本的な考え方を理解し、自己の人生観・世界観を形成し、人格形成に努める。
・日本の思想や宗教の特徴について理解し、日本人としてのあるべき姿を自覚する。
・現代の倫理的課題を解決していく能力を養うと共に、人間尊重の精神を身につけ、民主社会の実現に寄与する。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a ：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：資料活用の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	人間・生命尊重の精神を身につけ、自己の人格形成に努める意欲を持っているか。倫理的な諸課題を探究し、人間的な生き方を追求しているか。	自己の確立についての課題を発見し、人間の存在価値・現代の倫理課題について探究し、公正に判断し、様々な形で表現しているか。	人間の生き方、現代の倫理課題に関して資料を収集、整理、情報選択ができるか。諸資料を主体的に活用し、適切に表現できるか。	人間の生き方、現代の倫理課題などの基本事項を、自己確立の課題と理解し、知識として人格形成に生かしているか。
評価方法	ワークシート レポート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査
	[主題学習] 振り返りシート	[主題学習] 授業での発表・報告	[主題学習] 資料のまとめ	[主題学習] 授業内容のまとめ
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1学期	第1章 自己形成と青年期の課題	１青年期の意義 ①わたしたちの「いま」 ②青年期の位置づけ ③青年期の特徴 ２青年期の課題と生き方 ①主体性の確立 ②自己理解 ③幸福と生きがい	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ 生徒各自の「いま」の現状把握ができているか。(a. b) ○ 青年期の位置づけ（a. b. d)、特徴（a. b, d)、モラトリアムの時期の意義を理解し、アイデンティティの確立（a. b. d)、自己実現を追求する（a. b. d）ことで、幸福と生きがいを感じているか。(a. b. c. d)	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第2章 人間としての自覚	１人間とは何か ２ギリシアの思想 ３キリスト教 ４イスラーム ５仏教 ６中国の思想 ７芸術と人間	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ 先哲の思想を学び、人間をどう定義しているか。(a. b. d) ○ ソクラテス、プラトン、アリストテレスの生涯と思想を中心に、古代ギリシア思想の発展過程が理解できているか。（a. b. d) ○ 世界三大宗教であるキリスト教・イスラーム・仏教の基本的考え方や成立・発展過程が理解できているか。(すべて a. b. d) ○ 儒家以降の諸子百家の思想に始まる中国思想の展開が理解できているか。(a. b. d) ○ 代表的な芸術作品を鑑賞することにより芸術が心にもたらす潤いに気づいているか。(a. b. c. d)	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
2学期	第3章 国際社会に生きる日本人の自覚	１日本人の精神風土 ①日本人のものの考え方 ②日本人の宗教観 ③日本人の倫理観 ２外来思想と日本の伝統思想 ①仏教と日本人の思想形成 ②儒教の日本的展開 ３西洋思想と日本人の近代化 ①近代への啓蒙 ②近代的な自己の確立 ③創造的な思想 ４国際社会に生きる日本人の自覚 ①戦後思想の動向 ②国際社会での日本人	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ 日本人のものの考え方の特質を精神風土の観点から捉え（a. b）その宗教観・倫理観の独自性が理解できているか。（すべて a. b. d) ○ 仏教の受容が日本人の思想形成にもたらした影響と日本での仏教の変容を、無常観・美意識・武士道との関連から理解しているか。(a. b. d) ○ 儒教の日本における展開や国学、庶民・農民から生まれた独自の思想が、幕末にどのように発展し、西洋文化と接触していったのか、その過程を理解しているか。(a. b. d) ○ 啓蒙思想・自由民権思想・国家意識・キリスト教思想が日本人の思想形成に与えた影響について理解しているか。(a. b. d) ○ 文学の世界において、日本人の思想形成がどう行なわれたのか、理解しているか。(a. b. d) ○ 西洋思想を摂取するなかで、独創的な思想がどう形成されたか、その内容とともに理解できているか。(a. b. d) ○ 戦後思想の動向を理解しつつ(a. b. d)、国際社会で役割と責任を果たそうとする自覚ができているか。(a. b. c. d)	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

	第４章　現代を生きる人間の倫理	１現代とはどういう時代か ２人間の尊厳 ①人間尊重へ向けて ②合理的精神の確立 ③社会契約説 ④人格の尊厳 ーカント ３民主社会の倫理 ①ヘーゲルの人倫の思想 ②功利主義 ③社会主義思想 ４新たな人間像の模索 ①主体性の回復をもとめて ②現代の実存哲学 ③フランクフルト学派 ④人間観と言語観の問いなおし ５自然や科学技術と人間とのかかわり ①近代的自然観 ②自然との調和 ６民主社会の成熟のために ①差別と偏見のない社会 ②社会参加と奉仕	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○現代社会の様々な側面を考察することにより、具体的事例に基づき、現状を把握できているか。（a. b） ○ ルネサンス、宗教改革、合理的精神（ベーコンとデカルト）、社会契約説（ホッブズ・ロック・ルソー）、カントの思想などから、西洋の人間観と人間尊重の精神を理解できているか。(すべてa. b. d) ○ヘーゲルの人倫思想、功利主義、社会主義思想などが、近代市民社会の持つ矛盾や克服を課題としていることを理解しているか。（すべてa. b. d) ○実存哲学、フランクフルト学派、構造主義など現代思想の人間観が、人間や社会のあり方の急激な変化による近代的な理性への問いなおしであることを理解しているか。(すべてa. b. d) ○科学技術の基礎にある自然観を再検討することが、地球規模での環境問題や生命倫理の諸課題の解決に必要であることを、生命への畏敬の念を考慮したうえで、理解できているか。(すべてa. b. d) ○あらゆる差別や偏見などの解決が、民主社会の実現に必要であることを理解し（a. b. d)、その解決に各自がどう関わっていくか、考えているか。(a. b. c. d)	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
３学期	第５章　現代の課題を考える	１　生命 ２　家族 ３　地域社会 ４　情報社会 ５　文化と宗教 ６　環境 ７　国際平和と人類の福祉	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○生命や死、医療の問題について理解することにより、人間としての生き方を考えているか。(b. d) ○核家族化・少子高齢化社会の抱える諸問題について理解しているか。(b. d) ○今日の地域社会が抱える諸問題を理解し、今後の理想的なｺﾐｭﾆﾃｨｰのあり方を考えているか。(b. d) ○今日の情報社会が抱える諸問題を理解し、メディア・リテラシーのあるべき姿を考えているか。(b. d) ○グローバル社会における文化と宗教のあり方を考え、寛容の精神を持って、多面的な視点や共生の思想を模索しているか。(b. d) ○今日の環境問題の基本的観点を踏まえ、倫理的に課題を明確化し、持続可能な社会の実現を目指そうとしているか。(b. d) ○今日の豊かな社会の背後に潜む諸問題を考え、世界の平和と福祉の向上に貢献するために、いかに行動すべきか、という意識を高めているか。（a. b. c. d)	・授業観察 ・発問評価 ・定期考査